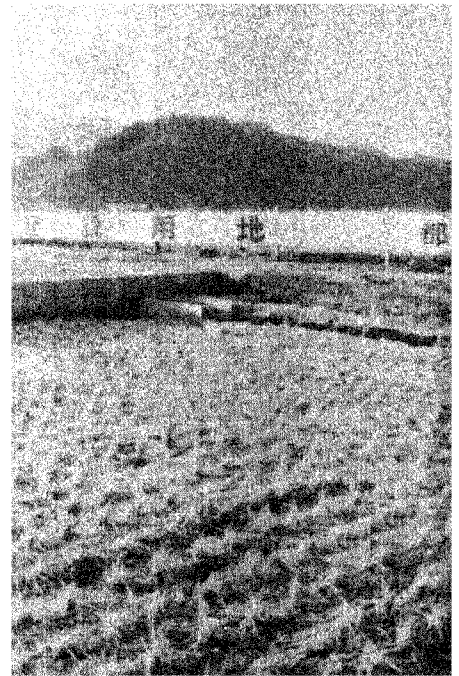


市土の有効利用と都市基盤整備

設であります。高齢化社会を迎え、その対応として当市の設置は、郡内地域の病院を特徴づける最たるものと思われ、時代を先行するものがあります。



今後、国、県に対して、起債申請、補助金申請、開設許可申請を行い、実施設計を作成し、建設工事に着手して参ります。

昭和六十三年・昭和六十四年の二カ年で建設し、昭和六十五年四月には、開院して参りたいと思っております。

当市は、自然環境に恵まれているものの、市土の面積（一六一・九七平方キロ）のうち約八十五パーセントは山地であります。

この土地利用をどのようにしていくか、都留市の土地対策として重要なことであります。

昨年から推進しております「サン地開発」が順調に進行しております。

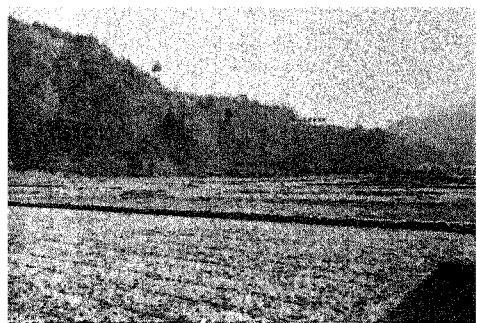
市民の宅地供給を容易にするため、土地開発公社事業で

進めております、玉川大穴口地内への五十九区画の住宅地さらに平栗大むき地内に地形を有効に利用して九区画の工業団地と二十五区画の住宅地について、本年早い時期に分譲したいと計画を進めております。民間活力であります、ゴルフ場の開発も山地を有効に活用する「サン地開発」の一環として促進して参ります。市の産業面に、大きな役割をはたすものと考えております。

これからも自然保護と開発の調和のとれた住宅地等の造成を推進して参りたく存じます。また、理想的な市街地形成ができるよう都市計画街路、土地区画整備事業等を取り入れて有効な土地利用を図って参りたいと存じます。

特に、本市の文教都市としてのイメージを高めるために都留文科大周辺への富士急行線駅舎の設置を駅前広場整備と併せて地域の皆様のご意見、ご協力をいただきながら推進して参ります。

また、国道一三九号線都留バイパスの建設促進、都市計画街路四日市場古川渡線拡幅改良、総合運動公園事業等、いずれも大型プロジェクトであります。積極的に取り組ん

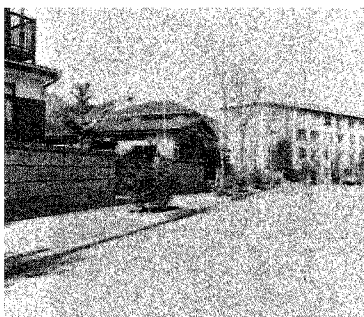


で参る所存であります。

市内県道につきましても、県に積極的に働きかけ都留インター付近の高畑谷村停車場線の整備等を促進するとともに、中央自動車道側道の高度利用を目的とした谷村橋整備事業は、いよいよ本年橋りょうと取り付け道路工事に着工いたします。早期完成をめざし、市街地の交通緩和を図って参ります。

次に大月都留衛生組合ごみ・し尿処理場周辺に、雇用促進事業団が建設設計を進めておりました都留勤労者体育施設の多目的広場、テニスコート、プール、管理棟等の建設が着工いたしました。

本年七月にはオープンする計画ですが、これにより勤労



者が野外活動を通じ、コミュニケーションの場として交流が深まり、若い世代の活力を育む糧となるとともに、周辺の環境づくりに役立つものとおおいに期待されています。

また、かいじ国体からはや一年が過ぎましたが、各地域において国体を契機に市民スポーツの輪が広がっており、スポーツに対する関心が高まってきました。

去る十一月十五日、楽山球場に「国体記念碑」を建立し除幕式を行い、国体記念スポーツフェスティバルを開催いたしました。

子供から高齢者までを対象に、誰もが楽しむことができ、一日を健康的に楽しく過ごしていただきました。

今後もスポーツに親しみ、健康づくりや仲間づくりに役立つよう実施して参りたいと思っております。